

2023年4月16日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第2号(通算3334号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひととも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書 11:25)

ふっかつせつ だい しゅうじつれいはい
復活節 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう
前 奏 黙 禱

まねき の ことば もくしろく しょう せつ
招きの詞 ヨハネの黙示録 19章 6b-8節

さんび か ばん ところ そこ きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-8番「心の底より」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 ルカによる福音書 24章 13-35節

いの せつ
お 祈り
さんび か ばん ち こえ ちょうさくけんしょうめつ
賛美歌 21-326番「地よ、声たかく」(©著作権消滅)

メッセージ 「なぜ暗い顔で」 水谷 憲 牧師

さんび か ばん かぜ おか
賛美歌 21-57番「ガリラヤの風かおる丘で」(©JASRAC)

しゅう いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅうく ふく みずたに けん ぼくし
祝 福 水谷 憲 牧師

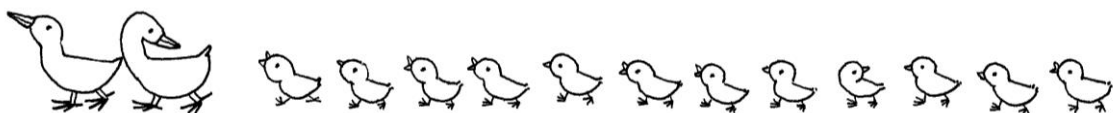
こう そう ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこう ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。



招きの詞 まね ことば ヨハネの黙示録 19章 6b-8節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

6b「ハレルヤ／全能者である神、主が王となられた。／⁷私たちは喜び、大いに喜び
神の栄光をたたえよう。／小羊の婚礼の日が来て／花嫁は支度を整え
⁸輝く清い上質の亜麻布を身にまとった。／この上質の亜麻布とは
聖なる者たちの正しい行いである。」

聖書 ルカによる福音書 24章 13-35節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹³この日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオンの(注:約11km)
離れたエマオという村に向かって歩きながら、¹⁴この一切の出来事について話
し合っていた。¹⁵話し合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいて来て、
一緒に歩いて行かれた。¹⁶しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは
分からなかった。¹⁷イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何の
ことですか」と言われた。それで、二人は暗い顔をして立ち止まった。¹⁸その
一人のクレオパと言う人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、ここ数
日そこで起こったことを、あなただけがご存じないのですか。」¹⁹イエスが、
「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのこと
です。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。
²⁰それなのに、私たちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡し、
十字架につけてしまったのです。²¹私たちは、この方こそイスラエルを解放
して(注:直訳「贖って」)くださると望みをかけていました。しかも、その
ことがあってから、もう今日で三日目になります。²²ところが、仲間の女たち
が私たちを驚かせました。女たちが朝早く墓へ行きますと、²³遺体が見当たら
ないので、戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておら
れる』と告げたと言うのです。²⁴それで、仲間の者が何人か墓へ行ってみたの
ですが、女たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」²⁵そこ
で、イエスは言われた。「ああ、愚かで心が鈍く、預言者たちの語ったことす
べてを信じられない者たち、²⁶メシアは、これらの苦しみを受けて、栄光に入
るはずではなかったか。」²⁷そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖
書全体にわたり、ご自分について書いてあることを解き明かされた。

²⁸一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だ
った。²⁹二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、も
う日も傾いています」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まる
ために家に入られた。³⁰一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、
祝福して裂き、二人にお渡しになった。³¹すると、二人の目が開け、イエスだ
と分かったが、その姿は見えなくなった。³²二人は互いに言った。「道々、聖
書を説き明かしながら、お話しくださったとき、私たちの心は燃えていたでは
ないか。」³³すぐさま二人は立って、エルサレムに戻ってみると、十一人とそ
の仲間が集まって、³⁴主は本当に復活して、シモンに現れたと言っていた。³⁵
二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分か
った次第を話した。

《先週のメッセージより》4月9日 イースター（復活日）礼拝

「前向きに生きる」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 20章 1-18節

突然の災害や事故、病気、親しい人との別れなど、予期しない大きな困難や悲しみに遭遇する時、その困難や喪失が大きい程、私たちは希望を見失い、絶望に打ちひしがれて、顔をあげられなくなることがあります。現実を直視することができず、今後のことなんて何も考えられなくなることがあります。イエス様の弟子たちもそうでした。イエス様を慕って行動を共にしていた彼ら、彼女たちは、その大切なイエス様を十字架刑によって失ってしまいました。そして安息日を目前にして、大急ぎで遺体を墓に納め、安息日が明けると夜明けとともに、墓に急いで行きました。しかし、そこで彼女たちが目にしたのは、空になった墓でした。誰かによって遺体まで盗み出されてしまったのか。悲嘆に暮れる彼女の前に現れたのは、死から引き起こされた（復活させられた）イエス様でした。しかも、その姿は生前に共に旅をしたイエス様ではなく、墓穴を掘り、遺体を移動させたり、安置したりするという、「死の穢れ」に触れる被差別の労働者でした。まさかあのイエス様がそんな人だとは思えないという姿で、復活のイエス様は確かに現れました。

復活のイエス様は、泣いていたマグダラのマリアの後ろから話しかけられました。またイエス様が処刑されたように、自分たちも捕らえられるかもしれないと、先行きを案じて家の中に鍵をかけて閉じこもっていた男たちの真ん中にも、復活のイエス様は施錠された扉という障壁を乗り越えて現れ「あなたがたに平和があるように」と言われました（20：19）。私たちがたとえ過去の思い出ばかりに目を向けていたとしても、目の前の現実を直視できていなかったとしても、その人の顔が向いている方向、それが「前向き」であることには変わりはありません。以前に聞いた話ですが、「顔を向けている方向が『前』なのだから、たとえ前後左右どちらを向いても、『前向きに生きている』ことに違いはない」のです。私たちが後ろを向こうが、下を向こうが、イエス様はいつでもどこでも共におられます。だからこそ、私たちはいつでも「前向きに生きる」ことができているのでしょう。復活のイエス様は、まさかそんな所にいるはずがない、そんな人として現れるはずがない、と私たちが思うような所に、すでに私たちの予想を越える形で現れて来られています。死で終わらない復活の命を生きるイエス様と共にあって、私たちは今日もそれぞれの場において「前向きに生きる」道へと、導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (4月9日 イースター礼拝)

礼拝出席 大人6名 献金 大人5,000円 中継動画再生数6回 感謝

(4月15日 キッズ・イースター)

参加者 子ども16名 大人6名 みんなで久しぶりに集まりました。礼拝をしてから、ゲームをして、楽しいひと時を過ごしました。どうもありがとうございました。

◎次週 2023年4月23日(日) 復活節第3主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 51章 3節

聖書 ルカによる福音書 24章 36-43節

メッセージ「神の前で、神と共に、神なしに生きる」牛田匡牧師

賛美歌「闇から光へ」「絶望の中に主はよみがえる」「みんなで輝く日が来る」(©JASRAC)

礼拝後に、釜ヶ崎のため「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。

◎公告

本日の礼拝後に、2023年度定期教会総会を開催いたします。議案の詳細については、別冊の「議案書」をご参照下さい。

◎お知らせ

- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は「緑色」に変更され、マスクの着用も個人の判断に任せられるようになりました。引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・骨折のために、2月から若草第一病院に入院されていた さんは先日、八尾徳洲会総合病院に転院されて、治療を続けておられます。感染予防のために面会はまだできないようですが、引き続きお祈りください。
- ・久宝伝道所が開設された頃の教会員で、ボーイスカウト八尾第3団の設立にも携わっておられた 一さんが、イースターの翌10日に天に召されました。81歳でした。毎年、ご自身で描かれた年賀状を教会に送ってくださっていました。久宝伝道所で使っていたオルガンを引き継がれて、今では教会学校の子どもたちが弾いておられるとのことでした。神様の御許におられることを覚えつつ、残されたご家族や関係者の皆様の上に、神様からの慰めをお祈りください。
- ・教団より「教会・伝道所支援」として、今年度の『信徒の友』と、図書「信仰生活応援セット」(『主の祈り』『使徒信条』『十戒』『信じる生き方』『教会をつくる』『洗礼を受けるあなたに』『朝の祈り 夜の祈り』)を頂きました。教会図書として置いてありますので、ご自由にお読みください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/23	牛田牧師	おにぎり支援
4/30	岡嶋伝道師	(第二好意庭 感謝祝福式・牛田牧師) 誕生者祝福式
5/7	牛田牧師	ユウカリスト・教会を考える会
5/14	水谷牧師	家族の日礼拝・服部墓前礼拝?

